

## 環境と有機農業に 対応した施設整備は



柏木 幸平 議員

処理施設整備事業の対象農家の整備状況、そして、未整備農家への対策は。

北村町長 対象農家は六十八戸で、施設があるの

は四十二戸、な

いのが二十六戸

である。うち十

七戸は、工事中

・申請中・計画

中で、残り九戸

は計画が立って

いない。技連会

でも重点活動に

しており、個別

には、補助事業

の活用や安価な

施設整備などを

協議・検討し、

指導しながら、

未整備農家の解

消に努める。

## 町道の維持管理対策は

柏木議員 私たちの日常生活に密着した町道に對して、危険箇所補修やパ

リアフリー化の要望があ

るが、道路の補修予算枠

が少なく、整備が遅れて

いる。予算枠を増額して、

年次の計画が必要と思

うが、今後どう進めていくのか。

町長 町道の認定路線は

六五二本、延長三六〇キ

ロで、補修等の要望も極

めて多く寄せられている。

特に、市街地における生

活道路は、老朽化の進んだ路線が多い。一般財源と県の振興資金借入れを財源として行っている町道補修工事は、今後も可能な限り計画的な執行に努める。

## 里親管理制度の推進を

柏木議員 里親管理制度

については、昨年度より

事業が始まり、各種団体

・個人においてポランテ

ィアで活動されている。

この制度を推進すること

で、町民の道路への愛着

や道路の維持管理費削減

にもなるので、積極的な

推進を図るべきと思うが、

町長 本制度に登録して

いただくことにより、美

化活動とまちへの愛着心もより徹底すると考える。環境美化推進委員との連携を図り、活動状況の紹介など、今後この制度が、より一層推進するよう方策を講じていく必要がある。ので研究・検討する。



来年から多頭飼育農業に設置が義務づけられる「簡易ふん尿処理施設」